

景観形成の配慮事項に係る対応説明書（農地・丘陵・森林景観区域、空港沿道景観区域）

		※受付番号	
行為の種類	行為の内容		
<input checked="" type="checkbox"/> 建築物 <input type="checkbox"/> 工作物 <input type="checkbox"/> 開発行為 <input type="checkbox"/> 土地の形質変更 <input type="checkbox"/> 物件の堆積	新築 <input checked="" type="checkbox"/> 又は 新設	<input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 外観の変更	<input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替 <input type="checkbox"/> 色彩の変更

【建築物】

区分	配慮事項	対応状況の説明
配置・高さ	<input checked="" type="checkbox"/> 田園や丘陵地、大雪山・十勝岳連峰等、地域の良好な景観資源に対して、周辺からの眺望をさえぎらないように配慮した配置・高さとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 原則として高さ10m以下とすること。	本物件は近隣に忠別川サウングラウンドがあり、景観に対して特に配慮が必要と考える。敷地はサウングラウンドより低い位置にあり、同敷地内にある既設車輛格納庫とほぼ同じ高さになるよう建物高さを5.35mとしていることから眺望を害することはないと考える。
形態・意匠	<input checked="" type="checkbox"/> 農地や丘陵地、森林といった自然豊かな周辺景観と調和した形態・意匠（外観デザイン）とすること。 <input type="checkbox"/> 大規模な建築物の壁面は、長大で単調となることを避け、分割・分節などの工夫を行うこと。 <input type="checkbox"/> 屋根や壁面は自然や緑に馴染む素材感とし、周辺との違和感が出ないように配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 建築物に附帯する設備等は道路等の公共空間から容易に見えないように配置し、又は目隠しする等の工夫を行うこと。	・同一敷地内にある既設車輛格納庫に屋根・外壁の仕様を合わせ、統一感を持たせた意匠計画としている。 ・敷地外周部には既設にて目隠しフェンスが設けられている。 ・参考建物の事務所棟のオイルタンクには目隠し壁を設置している。
色彩	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根や壁面の基調となる部分の色彩は光沢を抑え、彩度は景観形成基準で定める範囲内とするなど、花と緑が映える色使いを基本とすること。 <input checked="" type="checkbox"/> 複数の色彩を用いる際は色数を抑え、目立つ色彩の使用は最小限にとどめること。 <input checked="" type="checkbox"/> 航空機からの眺めに配慮し、屋根の色彩は周辺との調和に配慮すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 屋根や壁面にはイラスト等の記載は控えること。記載する場合にはワンポイントのロゴマーク、ロゴタイプにとどめること。	・屋根・外壁には彩度の高いものは使用せず、材質は異なるが全て無彩色に近い色彩にて計画している。角波カラーガルバリウム鋼板部についても単色にて計画している。 ・既設車輛格納庫の屋根と統一感を持たせた計画としている。 ・イラストやロゴマークなどの表記はございません。
緑化	<input checked="" type="checkbox"/> 沿道から見える場所には樹や花を積極的に植えるなど彩りある沿道景観や心地よい歩行空間づくりに配慮すること。 <input type="checkbox"/> 既存樹木の保全に努めること。やむを得ず伐採しなければならない場合は、新たに植栽を行うなど緑化に努めること。 【空港沿道景観区域に関する配慮事項】 <input type="checkbox"/> 来訪者に北の大地を印象付けるような連続した花と緑の沿道景観づくりに努めること。	・敷地周辺の法面は既存の芝面を保全する。